

令和4年

4月11日発行
1号

フィグスポ

フィグラーレ狭山FC

ジュニアユース
中学生・小学生スクール

ご入学、ご進学おめでとうございます

4月初春。きれいな桜が満開しました。進学した選手の顔立ちが一段と、成長を感じさせてくれました。当チームでも、新年度を迎え、「変革時期」になってきました。選手育成に力を入れるべく、「活動拡大」や「指導者のスキルアップや新規スタッフ増員」等についてご紹介いたします。
＜選手育成強化に伴うこと＞

●ジュニアユース（中学生クラブチーム）充実した週5回活動の確保に努める

- ・練習会場の確保。ジャクパ狭山グラウンドの芝グラウンドや体育館での活動の実施。
- ・練習試合や大会（埼玉県・チーム主催）に出場し、様々な経験を積ませること。

●指導者新規採用と指導者のスキルアップ

- ・指導者の指導力を高めるために、JFAサッカー指導ライセンスや審判員資格取得に努めること。
- ・講師として、選手のスキルアップにつながる外部講師の採用。

●合宿指導計画

- ・ジュニアユース選手は、年間4回（1、2年生）が安全に合宿活動に専念できるように宿舎の徹底した除菌活動と共に、充実した合宿指導計画の作成と実施。ご家庭に負担のない安価での計画。3年生は年に2回予定（1泊の遠征合宿検討中）。

●埼玉県教育施策「人権教育」と関連性ある指導計画（裏面をご参照ください）

- ・「しょうがい」ハンディキャップのある選手や「女性」なでしこ選手との交流。（他者理解）
- ・奉仕活動「募金活動」を通して、選手としての自覚を感じる。（社会性・奉仕）
- ・「多種目選手」との関わりをもち、そのスポーツの重要性を知ること。（他者理解）

＜チーム経営に伴うこと＞

●ニーズに応じて新たな施策に取り組むこと、継続すること

- ・小学生「スキルアップクラス」増設。月曜日18時から19時15分にて、ドリブル、パス、シュートの基礎基本の習得と体幹を中心に実施。
- ・中学生スクール継続。中学校の部活動に所属しつつ、当チームの練習や練習試合に参加できるクラスを継続。

- ・「フットサル同好会」9月末までの期間限定の立ち上げ。小学低学年選手の需要から発足。

※あくまでも同好会です。9月以降、「同好会継続」か「フットサルチーム立ち上げ」、「期間満了」の選択肢をもって活動します。

- ・ジュニアユース他チーム選手との交流「合同練習、合宿」を通して力を身に付ける。
- ・文武両道できる選手の育成に伴い、「寺子屋」を無料とし、負担なく通える教室の配置。

※学習教室「寺子屋」、「フットサル同好会」のご案内は、別紙をご参照ください。

現在の社会のニーズに応じて、可能な限り活動をしていきます。新規に立ち上げるものは、期間を設け、試験的に実施することで、選手と指導者が見切りをつけることができると感じております。

フィグラーレ狭山FCができることを、選手と保護者の皆様と指導者、地域の皆様と共存していくために、前進していきます。

別紙には、今年度のスタッフ一覧が記載されております。新規加配されるスタッフを含め、令和4年度もよろしくおねがいたします。